

# 平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会 部	博物館 課	博物館 担当	内線等	8013
----	---------	-------	--------	-----	------

事業コード		事務事業名	市史編さん事業		
根拠法令等			A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	文化
------------------	----

事務事業の内容

対象	一般市民に対して
手段	市制施行50周年の平成16年度に市史を刊行し、一般頒布することによって
想定する成果	蒲郡の原始・古代から現代に至るまでの正しい歴史理解を市民に供し、且つ利用に役立ててもらおう。

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
嘱託職員報酬	3名 4,500,000円	3名 3,750,000円	3名 4,500,000円
監修者報酬	5名 1,320,000	5名 1,320,000	5名 1,320,000
執筆委員報償費	14名 280,000	21名 820,000	21名 2,240,000 (原稿料の一部を含む)

目標値

成果指標名	原稿進捗（初稿）率
成果指標の説明	初稿ページ数 / 本文編4巻の予定総ページ数 × 100

事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画	-	-	100%
	実績	0%	10.0%	-
事業費	事業費	9,597,515	7,177,150	10,398,000
	人件費	1,285,800	5,014,800	6,372,750
	(人数)	0.15	0.6	0.75
	合計	10,883,315	12,191,950	16,770,750
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	10,883,315	12,191,950	16,770,750

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	執筆者の多くが小中学校教師であり、多忙な学校現場との両立に苦慮している。
効率性	6	6	執筆は主として小中学校教師と市職員に、編集は嘱託職員に担当させて、経費の低減を図っている。
公共性	6	6	市が実施すべき事業だが、民間（市民）の協力も不可欠である。
緊急度	10	10	市制50周年の平成16年度に本文編4巻の発刊を目指している。
小計	25	25	
市民参加度	6	6	資料提供などで多くの市民の協力を得ているが、もう少し広範な認知を得る努力が必要である。
合計	31	31	
総合評価	B	B	いくら資料が揃っても、それが原稿に反映されなければ意味がない。その執筆時間は、多忙な執筆者の自己犠牲に負う面が大きく如何に集中力をもって取り組んでもらうかがカギである。広く市民に資料提供を求め、関心を高めていく必要がある。

これまでに実施した改善点

達成度	編さん室にアルバイト職員1名を雇用。
効率性	執筆者に小中学校教師や市職員を充て経費の節減を図った。最近の傾向では、執筆を大学教授等に依頼する市町村が増えてきている。
公共性	執筆しやすい環境づくりの一環として、教師執筆委員の教育現場でのサービスの取り扱いを「職務専念義務免除」とした。
緊急度	執筆者が所属する学校長の承認を得て、博物館での集中活動日を設定。（毎週水曜日、春・夏・冬休み）
市民参加度	広報「がまごおり」や各公民館などを通して資料収集の呼びかけを行った。

今後の改善すべき点

達成度	執筆者同士で互いの原稿をチェックし、集中度を高めつつ薄い部分をカバーしあう。
効率性	印刷製本の効率的な発注に備え、他市町村の情報を収集する。また、購入意欲をそそるような宣伝活動を展開して売り上げ増進を図る。
公共性	
緊急度	
市民参加度	